



# 安全データシート

## 1. 化学物品及び会社情報

- 1.1. 製品名 : 石原グラスジン M ナトリウム粒剤 (ベンタゾン・MCPA エチル粒剤)  
1.2. 用途 : 除草剤  
1.3. 会社情報 : 会社名 石原産業株式会社  
住所 大阪市西区江戸堀 1 丁目 3 番 15 号  
担当部門 三重県四日市市石原町 1 番地  
石原産業株式会社環境・安全衛生統括部  
電話:059-345-6205 FAX:059-345-6206  
1.4. 緊急連絡先 : 石原産業株式会社 バイオサイエンス営業本部 生産技術部  
電話:059-345-6118 FAX:059-345-6180  
1.5. 作成日 : 2004 年 5 月 11 日  
改訂日 : 2016 年 6 月 1 日③

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先 : 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

## 2. 危険有害性の要約

### 2.1. GHS 分類

#### 物理化学的危険性:

爆発物	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性・酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない

#### 健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類対象外
皮膚腐食性・刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2A
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 1A
生殖毒性	分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分1(呼吸器系)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分1(腎臓, 呼吸器系, 肺)
吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性(急性)	区分3
水生環境有害性(長期間)	分類できない
オゾン層有害性	分類できない

## 2.2. ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語: 危険

危険有害性情報:	H319	強い眼刺激
	H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	H350	発がんのおそれ
	H370	呼吸器系の障害
	H372	長期にわたる、または反復ばく露による腎臓、呼吸器系または肺の障害
	H402	水生生物に有害

注意書き:

### 【安全対策】

安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。

- P264 取扱い後は手や眼をよく洗うこと。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P260 粉じん／ヒュームを吸入しないこと。
- P270 この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
- P273 環境への放出を避けること。

### 【応急措置】

- 応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。
- P312 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- P305+P351+P338 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P337+P313 眼の刺激が続く場合: 医師の診察／手当を受けること。
- P302+P352 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。
- P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診察／手当を受けること。
- P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- P308 + P313 ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当を受けること。
- P307+P311 ばく露した場合: 医師に連絡すること。
- P314 気分が悪い時は、医師の診察／手当を受けること。

**【保管】**

保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。

P405 施錠して保管すること。

**【廃棄】**

廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。

P501 内容物／容器を国／都道府県／市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3. その他の危険有害性: 特になし

**3. 組成及び成分情報**

3.1. 化学物質・混合物の区分: 混合物

3.2. 成分

一般名	ペンタゾン Na	MCP エチル	鉱物性粉末等		
化学名	3-イソプロピル-2,1,3-ベンゾチアジアジノン-(4)-2,2-ジオキソド=ナトリウム塩	2-メチル-4-クロロフェノキシ酢酸エチル	シリカ	酸化アルミ	その他
構造式			SiO <sub>2</sub>	Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	—
含有率	11.0%	1.2%	67%	12%	8.8%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に 規制される物質	農薬取締法に 規制される物質	(1)-548	(1)-23	全成分登録保証
官報公示整理番号 安衛法	8-(7)-863	4-(7)-355	公表	公表	全成分登録保証
CAS No.	50723-80-3	2698-38-6	7631-86-9	1344-28-1	ノウハウのため 非公開

**4. 応急措置**

4.1. 応急措置の記載

- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察／手当を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診察／手当を受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師の診察／手当を受けること。  
ばく露またはばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。

4.2. 最も重要な兆候及び症状 : データなし

4.3. 医師に対する特別な注意事項 : データなし

## 5. 火災時の措置

- 5.1. 消火剤 : 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス
- 5.2. 特有の危険有害性 : 情報なし。燃焼時、有毒ガス(HCl, NO<sub>x</sub>, SO<sub>x</sub>等)が発生するおそれがある。
- 5.3. 消火方法 : 情報なし。
- 5.4. 消火を行う者の保護 : 消火作業の際は、保護具を着用し、眼・鼻・口を覆う保護具(ホースマスク等)を着用するのが望ましい。

## 6. 漏出時の措置

- 6.1. 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 :
  - 作業に際しては、適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。
  - 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。
  - 関係者以外の立入を禁止する。
  - 作業者は適切な保護具(「8. ばく露及び保護措置」を参照)を着用し、眼・皮膚への接触や吸入を避ける。
- 6.2. 環境に対する注意事項 : 河川等に排出され、環境へ影響を及ぼさないように注意する。  
公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 6.3. 回収、中和、封じ込め及び浄化の方法 : 大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。  
危険でなければ漏れを止める。  
可燃物(木、紙、油等)は漏洩物から隔離する。  
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 7.1. 取扱いの注意 :
  - 取扱い後は手や眼をよく洗い、うがいをする。
  - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
  - 使用前に取扱説明書を入手すること。
  - すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
  - この製品を使用する時に飲食または喫煙をしないこと。
  - 環境への放出を避けること。
  - 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取り扱いをしてはならない。
  - 皮膚との接触を避けること。
  - 空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。
  - 粉塵／ヒュームの吸入を避けること。
  - 接触、吸入または飲み込まないこと。
  - ラベルをよく読むこと。
  - ラベルの記載内容以外に使用しないこと。
  - 農薬は余らせて廃棄することのないように全てを使い切ること。
  - 使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理すること。
  - 有効期限内に使用すること。
  - 使用済み容器は他の用途には絶対に使用しないこと。
  - かぶれやすい体質の人は取り扱いに十分注意すること。
- 7.2. 保管上の注意 :
  - 技術的対策 : 保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。  
直射日光を避け、低温で換気の良い場所で保管すること。
  - 保管条件 : 施錠できる場所に保管すること。  
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。



## 11. 有害性情報

- 11.1. 急性毒性 : 経口 LD<sub>50</sub> 5228mg/kg (ラット♂), 4830mg/kg (ラット♀)  
 経皮 LD<sub>50</sub> >2000mg/kg (ラット♂, ♀)  
 吸入 データなし
- 11.2. 皮膚刺激性 : 刺激性なし(有効成分ベンタゾン及び MCP エチル含有類似製剤)
- 11.3. 眼刺激性 : 刺激性あり(有効成分ベンタゾン及び MCP エチル含有類似製剤)
- 11.4. 感 作 性 : 皮膚感受性:有効成分ベンタゾンは感受性あり、MCP エチルは感受性なし  
 呼吸器感受性:データなし
- 11.5. 変 異 原 性 : データなし
- 11.6. 発 が ん 性 : シリカ(区分 1A)を 67%含有することから、区分 1A とした。
- 11.7. 生 殖 毒 性 : データなし
- 11.8. 特定標的臓器毒性(単回ばく露) : シリカ(区分 1:呼吸器系)を 67%含有することから、区分 1(呼吸器系)とした。
- 11.9. 特定標的臓器毒性(反復ばく露) : シリカ(区分 1:腎臓, 呼吸器)を 67%含有し、酸化アルミ(区分 1:肺)を 12%含有することから、区分 1(腎臓, 呼吸器系, 肺)とした。
- 11.10. 吸引性呼吸器有害性 : データなし

## 12. 環境影響情報

- 12.1. 生 態 毒 性 : 水生環境急性有害性 コイ LC<sub>50</sub> 177mg/L(96 時間)  
 オオミジンコ EC<sub>50</sub> 873mg/L(48 時間)  
 藻類 ErC<sub>50</sub> 27mg/L(72 時間)  
 水生環境慢性有害性 データなし
- 12.2. 残留性・分解性 : データなし
- 12.3. 生 態 蓄 積 性 : データなし
- 12.4. 土壤中の移動性 : データなし
- 12.5. オゾン層への有害性 : 本品の成分はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

- 13.1 内容物の廃棄 : 使用残農薬及び空容器の排出事業者自身で、許可を受けた廃棄物処理業者に処理を委託する。  
 市町村が回収処分をしているところでは、定められた方法に従う。  
 使用残農薬及び空容器を地域共同で適正に回収処分する体制が確立しているところでは、当該システムにより処分する。  
 使用済み容器及び散布器具等の洗浄液は、農薬散布液調製に用いるなど、圃場内で処理する。
- 13.2 容器の廃棄 : 空容器を廃棄する場合は、内容物を除去した後に適切に処分する。

## 14. 輸送上の注意

- 14.1. 国際規制
- 国連番号 : 該当しない
- 国連分類 : —
- 包装等級 : —
- 品 名 : —
- 航空規制情報 : 該当しない
- 海上規制情報 : 該当しない
- 海洋汚染物質 : 該当しない

